

# 適 合 証 明 書

供 給 者 : 積水化学工業株式会社  
環境・ライフラインカンパニー 滋賀栗東工場

所 在 地 : 滋賀県栗東市野尻75  
TEL 077-553-0771 (代表)

製 品 : エスロン<sup>®</sup> カチット継手 両座付き給水栓エルボ (本体PPS製)

上記製品が、下記と適合することを証明します。

| 文 書 番 号    | 標 題                    |
|------------|------------------------|
| 水道法施行令第6条  | 「給水装置の構造及び材質の基準」       |
| 厚生労働省令第14号 | 「給水装置の構造及び材質の基準に関する省令」 |
| 厚生労働省令第15号 | 「水道施設の技術的基準を定める省令」     |

付 記 : 弊社製品「エスロン<sup>®</sup> カチット継手 両座付き給水栓エルボ (本体PPS製)」は、  
ISO 9001:2015 / JIS Q 9001:2015 に適合した品質管理システムのもとに  
製造されています。

ISO登録

登録証番号: JQA-1817 発行日: 1997年7月25日

発行日 : 令和8年 7月 24日

〒105-8566  
東京都港区虎ノ門2-10-4  
(オークラプレステージタワー)  
積水化学工業株式会社  
環境・ライフラインカンパニー  
技術・CS部

# 試験検査成績書

平成29年7月1日

滋賀県栗東市野尻75  
積水化学工業株式会社 滋賀栗東工場



エスロン カチット継手 両座付き給水栓エルボについての試験検査結果は、下記の通りであります。

| 試験項目                                                                     |                              | 性能基準                                                  |             | 分析結果(補正值 <sup>(1)</sup> ) | 判定 |
|--------------------------------------------------------------------------|------------------------------|-------------------------------------------------------|-------------|---------------------------|----|
| <b>耐圧試験</b><br>(JIS S 3200-1に<br>基づく方法)                                  | 両座付き給水栓<br>エルボ<br>10 × Rp1/2 | 20kPa及び1.75MPaの静水圧<br>を1分間加え、水漏れ、変形、<br>破損、その他の異常がない事 |             | —                         | 合格 |
|                                                                          |                              |                                                       |             |                           |    |
| <b>浸出試験</b><br>(JIS S 3200-7に<br>基づく方法)<br><br>両座付き給水栓エルボ<br>10 × Rp 1/2 |                              | 味                                                     | 異常なし        | 異常なし                      | 合格 |
|                                                                          |                              | 臭気                                                    | 異常なし        | 異常なし                      |    |
|                                                                          |                              | 色度                                                    | 5度以下        | 0.5 度未満                   |    |
|                                                                          |                              | 濁度                                                    | 2度以下        | 0.05 度未満                  |    |
|                                                                          |                              | 銅                                                     | 1.0mg/L以下   | 0.01 mg/L未満               | 合格 |
|                                                                          |                              | 鉛                                                     | 0.01mg/L以下  | 0.007 mg/L                |    |
|                                                                          |                              | 亜鉛                                                    | 1.0mg/L以下   | 0.02 mg/L                 |    |
|                                                                          |                              | カドミウム                                                 | 0.003mg/L以下 | 0.0001 mg/L未満             |    |
|                                                                          |                              | TOC                                                   | 3mg/L以下     | 0.3 mg/L未満                |    |

- (1) 補正值は、JIS S 3200-7 : 2000に基づき次式により算出した。  
本対象器具は、配管途中に設置される給水用具に該当する事から、JIS S 3200-7 9. の c) の 1) を適用している。

$$\rho_B = NF \times C'$$

$$NF = \frac{SAF}{SAL} \times \frac{VL}{VF} = \frac{SAF}{VF} \div \frac{SAL}{VL} = \frac{\text{評価対象器具の接触面積比}}{25 \times \text{供試器具の接触面積比}}$$

ここに、  
 $\rho_B$  : 評価対象器具の補正值(溶出濃度)(mg/L又は度)  
 $C'$  : 供試器具の分析結果(mg/L又は度)  
 NF : 補正係数  
 SAF : 評価対象器具における飲料水が接触する部分の表面積(cm<sup>2</sup>)  
 SAL : 供試器具における浸出水が接触する部分の表面積(cm<sup>2</sup>)  
 VL : 供試器具における浸出液が接触する部分の内容積(L)  
 VF<sup>(3)</sup> : 評価対象器具における飲料水が接触する部分の内容積(L)

- (2) (1)の式は、評価対象器具が次の条件を満たす場合についてだけ適用できる。  
 a) 評価対象器具の使用材料と、供試器具の使用材料の材質が同等である。  
 b) 評価対象器具と供試器具の構造及び製造方法が類似している。  
 c) 評価対象器具の接触面積比が、供試器具の接触面積比以下。
- (3) VFを評価対象器具における水が接触する部分の内容積の25倍とする。

# 試 験 報 告 書

依 頼 者 積水化学工業株式会社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 エルボ形状の継手(PPS製両座付き給水栓エルボ)

表 題 浸出試験

2017 年(平成 29 年)01 月 23 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

## 浸出試験

### 1 依頼者

積水化学工業株式会社

### 2 検 体

エルボ形状の継手 (PPS製両座付き給水栓エルボ)

### 3 試験概要

検体についてJIS S 3200-7 : 2004「水道用器具-浸出性能試験方法」により、カドミウム及びその化合物等の浸出試験を行った。

#### 4 試験結果

結果を表-1に示した。また、評価対象器具の補正值を表-2に示した。

表-1 浸出試験結果

| 項目                | 結果         | 定量下限        |
|-------------------|------------|-------------|
| カドミウム及びその化合物      | 検出せず       | 0.0001 mg/L |
| 鉛及びその化合物          | 0.17 mg/L  | 0.001 mg/L  |
| 亜鉛及びその化合物         | 0.49 mg/L  | 0.01 mg/L   |
| 銅及びその化合物          | 0.09 mg/L  | 0.01 mg/L   |
| 有機物[全有機炭素(TOC)の量] | 0.6 mg/L   | 0.3 mg/L    |
| 味                 | 異常なし       | ***         |
| 臭気                | 異常なし       | ***         |
| 色度                | 1.0度       | 0.5度        |
| 濁度                | 0.16度      | 0.05度       |
| 残留塩素の減量           | 0.1 mg/L以下 | 0.1 mg/L    |

区分：給水管等

表-2 評価対象器具の補正值

| 項目                | 補正值           |
|-------------------|---------------|
| カドミウム及びその化合物      | 0.0001 mg/L未満 |
| 鉛及びその化合物          | 0.007 mg/L    |
| 亜鉛及びその化合物         | 0.02 mg/L     |
| 銅及びその化合物          | 0.01 mg/L未満   |
| 有機物[全有機炭素(TOC)の量] | 0.3 mg/L未満    |
| 味                 | 異常でない         |
| 臭気                | 異常でない         |
| 色度                | 0.5度未満        |
| 濁度                | 0.05度未満       |
| 残留塩素の減量           | 0.1 mg/L未満    |

## 5 試験方法

### 1) 浸出操作

検体を水道水(東京都多摩市)で1時間流水洗浄した後、精製水で3回洗浄した。次に、浸出液 (pH7.0±0.1, 硬度45±5 mg/L, アルカリ度35±5 mg/L, 残留塩素0.3±0.1 mg/L)を充てんし、約23℃で14日間コンディショニング操作を行った。さらに、検体にあらかじめ95±2℃に加温した浸出液を充てんし、約23℃で1時間静置後に充てんした液を交換する操作を2回繰り返すコンディショニング操作を行った。コンディショニング終了後、検体に95±2℃に加温した浸出液を充てんし、約23℃で16時間静置して得られた液を試料液とした。また、浸出液を同条件で静置し空試験液とした。試料液及び空試験液について、カドミウム及びその化合物等の試験を行った。ただし、残留塩素の減量の試験については、浸出液の残留塩素濃度を1.0～1.2 mg/Lとした。

### 2) 測定方法

測定方法を表-3に示した。なお、残留塩素の減量については、試料液及び空試験液の残留塩素を測定し、その差から残留塩素の減量を求めた。

表-3 測定方法

| 項目                | 測定方法            |
|-------------------|-----------------|
| カドミウム及びその化合物      | 誘導結合プラズマ質量分析法   |
| 鉛及びその化合物          | 誘導結合プラズマ質量分析法   |
| 亜鉛及びその化合物         | 誘導結合プラズマ発光分光分析法 |
| 銅及びその化合物          | 誘導結合プラズマ発光分光分析法 |
| 有機物[全有機炭素(TOC)の量] | 全有機炭素計測法        |
| 味                 | 官能法             |
| 臭気                | 官能法             |
| 色度                | 透過光測定法          |
| 濁度                | 積分球式光電光度法       |
| 残留塩素の減量           | DPD比色法          |

以 上

# ISO 9001

## マネジメントシステム登録証

登録番号 : JQA-1817

積水化学工業株式会社

滋賀栗東工場

滋賀県栗東市野尻 7 5

当機構は、上記事業者の品質マネジメントシステムを審査した結果、本登録証に記載する範囲において、下記規格の要求事項に適合していることを証します。

ISO 9001 :2015+Amd 1:2024 / JIS Q 9001:2025

登録活動範囲 :

- ・ 硬質塩化ビニル管（リブ付き高剛性管含む）、硬質塩化ビニル製管更生材、ポリエチレン管（金属強化ポリエチレン管含む）、強化プラスチック複合管（ドロップシャフト含む）、継手類、軽量耐食構造材、防音材料、硬質オレフィン発泡体、FRPシートの設計・開発及び製造
- ・ FRPM製貯留弁付マンホールの設計・開発及び製造（アウトソース）

登録日 : 1997 年 7 月 25 日

登録更新日 : 2026 年 7 月 25 日

有効期限 : 2029 年 7 月 24 日

本証書の有効性は、当機構までお問い合わせの上、確認することができます。

一般財団法人日本品質保証機構

東京都千代田区神田須田町1-2-5

理事／マネジメントシステム部門長

深尾 卓



MS  
CM009



091

| 対象となる事業所                                  | 活動範囲                                                                                                                                                                                                                         |
|-------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 積水化学工業株式会社<br>滋賀栗東工場<br>滋賀県栗東市野尻 7 5      | <ul style="list-style-type: none"><li>・硬質塩化ビニル管（リブ付き高剛性管含む）、硬質塩化ビニル製管更生材、ポリエチレン管（金属強化ポリエチレン管含む）、強化プラスチック複合管（ドロップシャフト含む）、継手類、軽量耐食構造材、防音材料の設計・開発及び製造</li><li>・FRPシートの設計・開発</li><li>・FRPM製貯留弁付マンホールの設計・開発及び製造（アウトソース）</li></ul> |
| 西日本積水工業株式会社<br>滋賀県栗東市野尻 7 5               | <ul style="list-style-type: none"><li>・硬質塩化ビニル管（リブ付き高剛性管含む）、硬質塩化ビニル製管更生材、ポリエチレン管（金属強化ポリエチレン管含む）、強化プラスチック複合管（ドロップシャフト含む）、継手類、軽量耐食構造材、防音材料の製造</li><li>・FRPM製貯留弁付マンホールの製造（アウトソース）</li></ul>                                     |
| 西日本積水工業株式会社<br>岡山製造所<br>岡山県岡山市東区古都宿 2 1 0 | <ul style="list-style-type: none"><li>・硬質オレフィン発泡体の設計・開発及び製造</li><li>・FRPシート、軽量耐食構造材の製造</li></ul>                                                                                                                             |